

ぎふかれん

No.71 2023年7月発行

発行 NPO 法人 岐阜県精神保健福祉会

☎500-8385 岐阜市下奈良 2-2-1 岐阜県福祉・農業会館 3階

TEL/FAX 058-271-8169 HP <https://gifu-karen.jimdo.com/>



理事長あいさつ

理事長 服部 信子

コロナ感染もやや下火になり、マスクを外して歩いている方が多くなりましたが、皆さんお元気ですか。

4月に総会を開催し、今年度の行事・研修会等を計画しました。今年度も、会場とオンラインを使ったハイブリッド講演会も行う予定です。是非、ご参加ください。

県大会は、全国精神保健福祉会連合会（みんなねっと）の役員に来てもらい、国への医療・福祉の要求、交通運賃割引の要求など活動内容を説明していただきます。

孤立している家族を無くし、家族会を知ってもらう目的で、「家族による家族学習会」を行います。今年は7月8月9月に大垣市総合福祉会館で行います。

相談事業は岐阜県の委託事業として、火・木・金曜日に行っています。気楽にご相談ください。甲州・東海ブロック大会は三重県で、全国大会は埼玉県で開催されます。元気がもらえるとしますので、ふるってご参加ください。

事務局は若い事務員が入り、みんなで頑張っています。ご協力、よろしくお願いいたします。

新理事のあいさつ

たんぽぽの会（各務原市） 会長 林 優子

はじめまして、令和5年4月より新理事となりました林優子です。

私は現在62歳で専業主婦です。31歳の娘（精神福祉手帳2級）と66歳の夫（身体障害手帳1級）と3人、各務原市で生活しております。娘は23歳で統合失調症を患い2度入院しております。親としてどうしたらいいのか途方に迷っていた時、各務原市「たんぽぽの会」に縁があり入会して、会員の皆様から元気をもらいました。

そして入会から5年たち、今年度から「たんぽぽの会」の会長と岐阜県精神福祉連合会の理事を務めさせて頂くことになりました。皆様に教えてもらいながらお役に立てますよう少しずつ頑張っていこうと思います。よろしくお願いいたします。



この機関紙は、岐阜県共同募金会のご寄付で作成いたしました

令和4年度事業報告

* 「家族による家族のための電話相談」事業

毎週 火曜日・木曜日・金曜日（祝祭日休み）AM10:00~PM3:00

岐阜県精神保健福祉会連合会事務局 相談件数 467件（前年度540件）

電話相談 419件 面接相談 43件（55名） メール相談 5件

電話相談レベルアップ検討会 令和4年10月19日・令和5年3月22日

* 「精神保健福祉啓発事業」

●第40回「知ってもらいたい心の病」講演会 （参加者81名・オンライン53名）

日時：令和4年8月28日(日) 13:30~16:00

場所：高山市文化会館 小ホール

演題：『発達障害と精神疾患について』

講師：藤江昌智医師（当日コロナ感染）、益田大輔医師

●第41回「知ってもらいたい心の病」講演会 （参加者79名・オンライン21名）

日時：令和4年10月10日(祝・月) 13:30~16:00

場所：養老町民会館 大ホール

演題：『今、私たちにできること~人と人とのつながりを回復するために~』

講師：高木総平教授

●令和4年度岐阜県精神保健福祉研修会 （参加者80名・オンライン29名）

日時：令和4年2月23日(祝・木) 13:30~16:00

場所：ぎふメディアコスモス みんなのホール

演題：『高次脳機能障害について』

講師：篠田淳医師

* 第42回 岐阜県精神保健福祉・家族大会 （参加者62名）

日時：令和4年9月23日(祝・金) 13:30~15:30

場所：南部コミュニティセンター（岐阜市）2階 大集会室

テーマ：『当事者・家族のリカバリー』

●当事者・家族の発表：川島さん、宮田さん、直野さん

●功労者表彰：安藤勝子さん、井上俊子さん、柘植昭和さん、山田偉雄さん

* 第14回全国精神保健福祉家族大会みんなねっと広島大会

日時：令和3年10月13日(木)・14日(金)

特別講演：「だれもが自分らしく暮らせる地域のために」（オンライン）

講師：藤井千代氏

分科会：①家族学習会 ②家族相談 ③障害年金・地域 ④高校教科書

* 令和4年度 甲州・東海ブロック精神保健福祉促進研修会 in 三重

コロナの為、2023年度へ延期

*機関誌「ぎふかれん」誌の発行 年2回発行（7月・1月）

*みんなねっと「家族による家族学習会」

●たんぼぼの会（各務原市）主催 家族学習会（5回）

日時：10/2, 9, 23, 30, 11/6 13:30~16:30

会場：那加福祉センター 2階 研修室

参加者5名・担当者5名（アドバイザー1名）

●岐阜市あけぼの会 主催 家族学習会（5回）

日時：12/11, 18, 1/9, 22, 29 13:30~16:30

会場：岐阜市 南部コミュニティセンター

参加者7名・担当者5名（アドバイザー1名）

*運賃割引運動 令和5年4月から養老鉄道、半額になる（手帳 1・2級）

令和4年度決算報告

収入 3,687,512 円 支出 3,687,512 円

会費	349,600	事業費	2,185,263	
（家族会費）	254,000	（家族学習会）	36,783	家族による家族学習会
（賛助会費）	95,600	（県大会・講演会）	637,713	家族大会・講演会
		（機関紙の発行）	65,964	「ぎふかれん誌」2回
		（他団体交流）	60,000	全国大会・ブロック
		電話・面接・メール相談	1,384,803	実働 143日
助成金等	2,509,900	管理費	1,394,158	
（補助金）	50,000	（事務所費）	197,001	事務所賃貸料
（県委託金）*	1,875,000	（給料等）	524,910	給料
（共同募金）	217,000	（会議費）	2,116	理事会お茶代
（助成金）※	367,900	（旅費・交通費）	185,000	事務員通勤費・理事会交通費
		（通信・運搬費）	89,025	電話・郵送料など
		（消耗品費）	126,445	PC用紙、プリンター
		（印刷・製本費）	45,034	コピー機プリント料
		（機器・備品購入費）	156,089	デスクトップパソコン
寄付金	0	（負担金）	40,000	県福祉協会・県社協・共同
雑収入	139,534	（労働保険）	6,319	
		（租税公課）	600	収入印紙
		（雑費）	16,619	振込手数料・両替
		（講師報償費）	5,000	理事研修
前年度繰越	688,478	次期繰越金	108,091	
合計	3,687,512	合計	3,687,512	

※助成金：岐阜新聞・中日新聞社会事業団・岐阜県精神保健福祉協会・イオンなどから。

*県委託金：精神保健福祉啓発事業 50.5万円・電話相談事業 137万円

令和5年度岐阜県精神保健福祉研修会 「高次脳機能障害について」報告

日 時：令和5年3月23日（祝・木）13：30～16：00

場 所：ぎふメディアコスモス みんなのホール（岐阜市司町40-5）

演 題：「高次脳機能障害について」

講 師：篠田淳 医師 ・中部脳リハビリテーション病院 病院長

・中部療護センター長

・中部国際医療センター（元 木澤記念病院） 非常勤務医師

参加者 109 名（会場参加 80 名・オンライン参加 29 名）

「高次脳機能障害」は、その症状や成り立ちが複雑で、専門的な医学用語が多く、一見難しい印象を受けます。講師の篠田淳先生には、パワーポイントを使い、豊富な図版と例え話で分かりやすく説明していただきました。

説明の合間に、野球のチームプレイなどの例えが出たシーンには会場に笑いが広がりました。

質疑応答の時間も、時間いっぱいまで多くの質問が飛び交いました。

検査技術が向上したため、以前は高次脳機能障害の診断がつかなかった患者さんも、高次脳機能障害の診断が下る場合があるとのことでした。ですが、その診断・リハビリテーションが出来る病院が岐阜県内ではまだ限られているそうです。もし相談したい場合は、篠田医師のおられる、中部脳リハビリテーション病院でもできるということでした。

参加者アンケートより…

●高次脳機能障害とうつ病の状態がよく似ているという画像をととても興味深く見ました。リハビリの大切さがよくわかりました。

●高次脳機能障害について改めて勉強できる機会を与えていただき、今まで分かっているようで理解していなかった部分も知ることができました。

びまん性→見えない障害から精密な画像検査によって損傷を発見できるようになった。この事は今までにはざまで悩んでいた方にとっては朗報でないかと思えます。

研究を続けていただける事で、理解・認知が広がると思えます。ありがとうございます。



（講師：篠田淳 医師）

グループホーム（GH）・あるある

岐阜市あけぼの会 熊谷久子

私は今、アルバイトで、土・日・祝日の昼間 月3～4日、グループホーム（以下 GH）の世話人をしています（留守番のようなものです）。

夜勤の世話人さんは17時～朝の9時、又は9時30分まで。夕方風呂の用意をして、夕食の用意。夜中の見回り、掃除、朝食の準備、話し相手 etc。夕食の準備は宅配の食事セットなので調理は簡単です。

勤務している GH は、女子棟4名（一軒家）、男子棟3名（マンション、5名定員）で、それぞれエアコン付き個室（6～8畳）。入居者は、障害支援区分認定（区分1～区分4）の方で、平日は就労継続支援B型やデイケアに通われています。21:00までに入浴と食事を済ませ、個室に戻ります。

入所のために必要な個人の持ち物は、寝具さえあればよいです。荷物が多いとそれだけ部屋が狭くなります。TVはリビングにあります。入浴道具、茶碗やお箸の食器も GH が用意しています。面会はいつでも出来ますが、ここは是非、親ばなれを練習しましょう。障害年金を受給されていない方は生活保護を申請出来ます。

朝食は、トースト・卵料理・ハムかウインナー・ヨーグルト・バナナ・スープ等。

又はご飯・干物・味噌汁・納豆・卵焼き・バナナ等。（我が家の朝食より豪華！）

平日の昼食は、各事業所でお出されるお弁当や給食、又は各自で用意したものを食べます。

夕食は、日替わりでメインの肉・野菜・魚と小鉢2品です。

休日の昼食は、各自で購入したり、将来の自立に向けて食材を買い自炊する方もいます。世話人が用意するときは1回500円徴収されます。

毎朝の血圧・体温測定・日中活動の予定確認・小口現金の預かり管理。サービス管理者による、月1回の面談、薬の管理、サビ管による病院受診時の送迎（移動支援を使われている方もいます）等々、GHの仕事は限りがありません。

居室がゴミ屋敷にならない様、点検・指導・洗濯などの見守りも個人によってはします。愚痴・相談事の傾聴、etc。昼間の世話人の仕事は、まあ、皆さんの見守りです。

A子さん：40代（区分認定4）統合失調症。平日は病院のデイケアへ。送迎付きです。休日は世話人と一緒に洗濯・散歩・スーパーに昼食の買い物。買い物は、気を付けていないと、なんでもかんでもかごの中へ入れてしまいます。水中毒？で水分の取りすぎに注意です。ご飯もお菓子も美味しそうに食べられます。早食いなので食事の時は目を離せません。

大きな食パンでも1枚全部口のなかへ入れようとされます。いつも穏やかでニコニコしています。

B子さん：20代（区分認定2）統合失調症。就労移行支援にバスで通っています。

ほとんど自立しています。ピアノがうまいです。（内緒ですが・・・彼氏がいます）

C 子さん：30代（区分認定3）双極性障害？就労継続支援 A 型事業所へバスで通所されています。中々のお洒落さんです。ほとんど自立されていますが、精神的にお母さんに依存が強いように思われます。

D 子さん：60代（区分認定3）療育手帳。就労継続支援 B 型へ送迎バスで通所されています。休日は、近くの大きな衣料品店でぶらぶらされるのが楽しみの様です。細い方なのでなんでも着れて羨ましいです。でも皆さん障害年金の範囲内の生活なので、やりくりが大変です。

E 男さん：50代（区分認定3）身体障害。一般就労にバスで通っています。とても明るくおしゃべりが好きみたいです。でも持病があるため一人での生活は不安で、グループホームに入られたそうです。休日にはハイキングのグループに入って各地を歩いたり、市の色々なイベントに参加されたり行動的です。

F 男さん：60代（区分認定3）統合失調症。就労継続支援 B 型へ送迎車で通所されています。本の好きな方で、世話人と一緒に昼食を近くのスーパーに買いに行く以外は、ほとんど居室で過ごされます。氷とお菓子が大好きですが、糖尿病で甘いものを制限されていて、お菓子を買ってくると没収！です。とてもお洒落で日に何度も着替えられます。チェーンのネックレスとプレスレットをジャラジャラされています。声が小さく優しいおっちゃんです。洗濯と掃除が嫌いです。

G 男さん：20代（区分認定3）療育手帳。就労継続支援 B 型へ送迎車で通所されています。何をしても器用な方で、昼食もスマホで材料を調べ、GH の台所で作られます。事業所の行事で色々な作品を造ったりされて来ますが、お上手です。本人は「セットになっているので誰でも出来る」と言われますが、いつもなかなかの出来ばえです。将来アパートでの一人暮らしを目標に生活の仕方を学んでいます。私の息子や夫のお古の洋服を喜んで着てくれます。少々神経質な面もありますが、なにかにつけて勉強熱心です。

彼らが、私が関わっている GH の愛すべき入所者の面々です。

今、岐阜市内や近郊にも GH が増えてきました。日中活動が難しい方用に介護支援型の GH も増えています。トイレ介助、入浴介助の支援も受けられます。入居費は7万円から9万円です。64歳まで入居出来ます。65歳になると介護へ切り替わりますが、元気でいればそのまま住み続けられます。介護の要素が多くなれば相談支援専門員や介護支援専門員達が考えて下さいます。親が元気なうちに GH へ入所するか、アパートに住むのか、実家で支援を受けながら暮らすのか話し合い、実行しましょう。

岐阜市では障がい児、障がい者のための「サポートブック」の更新にとりかかっています。「岐阜市あけぼの会」も意見を出しています。皆さん、ご自分の家族を支援していただいている相談支援専門員の会社名・担当者名をご存知ですか？

講演会のご案内

● 『第42回知ってもらいたい心の病』講演会

日時：令和5年7月30日（日）13：30～16：00

場所：岐南町 中央公民館 講堂（岐阜県羽島郡岐南町八剣7丁目107）

テーマ：『地域における事業所の役割～一緒に、ともに～』

発表者：工房さんぼみち（B型作業所）の支援者と当事者の方々

：かがやきネットワーク3（B型作業所/生活介護）の支援者の方

：GCC大垣校（B型作業所/就労移行支援）の支援者の方

コーディネーター：相談支援事業所かがやき 相談支援専門員

● 『第43回知ってもらいたい心の病』講演会

日時：令和5年11月19日（日）13：30～16：00

場所：美濃加茂市生涯学習センター（美濃加茂市太田町3425-1）

テーマ・講師：『未定』

● 『令和5年度 岐阜県精神保健福祉研修会』

日時：令和5年2月4日（日）13：30～16：00

場所：岐阜県図書館 多目的ホール（岐阜市宇佐4丁目2-1）

テーマ・講師：『未定』

● 『第43回岐阜県精神保健福祉・家族大会』

日時：令和5年9月18日（祝・月）13：30～16：00

場所：市橋コミュニティセンター 2階 大集会室

テーマ：『当事者・家族のリカバリー』

プログラム ◎全国精神保健福祉会連合会の活動報告

◎「ぎふかれん」活動報告

◎家族の発表（埼玉県の家族会の方）

「ケアする家族の実態を知ってほしい」

事前申込み・家での検温など、ご協力お願いいたします。

新型コロナウイルス感染状況によっては、予定が変更になるかもしれません。

月刊「みんなねっと」の購読を！

全国精神保健福祉会連合会（みんなねっと）は精神障がい者の家族会の全国組織です。国の障がい者福祉・医療の施策制定に委員として参画しています。

年間 3,600 円（賛助会員 会費に購読料含む）

発行者 公益財団法人 全国精神保健福祉会連合会（みんなねっと）

TEL 03-5941-6345 FAX 03-5941-6347

ご希望の方は連絡してください。

家族向け交流サイトみんなねっとサロン

～親、子ども、きょうだい、配偶者、パートナー等 ご家族の方限定～

■ご利用方法（無料）

<https://minnanet-salon.net/service> （みんなねっとサロンで検索）

く 家族による家族のための相談

同じ悩みを持つ家族だからこそ

共感できます！

相談日：火曜日・木曜日・金曜日（10：00～15：

00）面接相談も行っております。

TEL：058-271-8169（祝祭日休み）

携帯：090-6587-9838（精神保健福祉士）

HP <https://gifu-karen.jimdo.com/>



会員（家族会員）・賛助会員及びボランティア募集

家族会員は各地区の家族会として、それぞれ募集致しております。

岐阜県精神保健福祉会連合会（ぎふかれん）では、各家族会を会員とした NPO 法人として、家族会のネットワークにより、地域精神医療・福祉の向上を目指しています。

是非、会員や賛助会員になっていただき、ご援助お願いします。

会員：1,000 円/年 賛助会員：個人 1 □ 1,000 円 団体：10,000 円

郵便振替口座：00890-9-123784 □座名：岐阜精保福連

【編集後記】

初めまして。令和5年の2月1日から、事務局長の筒井さんの後任で勤務しております、山中美智子です。早く事務局の仕事に慣れるよう、精一杯やっていきたいと思っております。

夫と、6歳・3歳の娘たちとで、瑞穂市に住んでいます。

どうぞよろしくお願いいたします。（山中）